

CASBEE京都-新築(2011年版)
(仮称)オークプレイス北大路大宮 新築工事

■使用評価マニュアルCASBEE京都-新築(2011年)
 ■評価ソフト: CASBEE京都-新築2011(v.1)

欄に数値またはコメントを記入

スコアシート		実施設計段階		環境配慮設計の概要記入欄				建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体				
配慮項目	重点項目等	重点項目に対する全国版評価基準の見直し		評価点	重み係数	評価点	重み係数									
Q 建築物の環境品質												3.1				
Q1 室内環境												3.3				
1 音環境												3.4				
1.1 騒音												3.0				
1 室内騒音レベル												3.0	0.50	3.0	1.00	0.50
2 壁・天井・床の遮音性能												3.0	1.00	3.0	0.50	0.50
3 開口部遮音性能												3.0	-	3.0	-	0.50
1.2 遮音												3.0	0.50	4.0	0.50	0.50
1 開口部遮音性能												3.0	1.00	5.0	0.30	0.30
2 界壁遮音性能												-	-	3.0	0.30	0.30
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)												-	-	5.0	0.20	0.20
4 界床遮音性能(重量衝撃源)												-	-	3.0	0.20	0.20
1.3 吸音												-	-	-	-	-
2 温熱環境												1.8	0.35	3.0	1.00	2.8
2.1 室温制御												2.6	0.50	3.0	1.00	1.00
1 室温												3.0	0.63	-	-	-
2 室温変動の抑制												-	-	-	-	-
3 外皮性能												2.0	0.38	3.0	1.00	1.00
4 ゾーン別制御性												-	-	-	-	-
5 断熱性能												-	-	-	-	-
6 断熱性能の向上												-	-	-	-	-
2.2 湿度制御												1.0	0.20	-	-	-
2.3 空調方式												1.0	0.30	-	-	-
3 光・視環境												2.7	0.25	3.5	1.00	3.3
3.1 昼光利用												4.2	0.30	4.0	0.50	0.50
1 昼光率												5.0	0.60	5.0	0.50	0.50
2 方位別開口												-	-	3.0	0.30	0.30
3 昼光利用設備												3.0	0.40	3.0	0.20	0.20
3.2 グレア対策												1.0	0.30	3.0	0.50	0.50
1 グレア対策												-	-	-	-	-
2 昼光制御												1.0	1.00	3.0	1.00	1.00
3.3 照度												3.0	0.15	-	-	-
3.4 照明制御												3.0	0.25	-	-	-
4 空気質環境												3.0	0.25	4.2	1.00	4.0
4.1 発生源対策												3.0	0.60	5.0	0.63	0.63
1 化学汚染物質												3.0	1.00	5.0	1.00	1.00
2 臭気												-	-	-	-	-
4.2 換気												3.0	0.40	3.0	0.38	0.38
1 換気量												3.0	0.50	3.0	0.33	0.33
2 自然換気性能												3.0	-	3.0	0.33	0.33
3 取り入れ外気への配慮												3.0	0.50	3.0	0.33	0.33
4.3 運用管理												-	-	-	-	-
1 CO ₂ の監視												-	-	-	-	-
2 喫煙の制御												-	-	-	-	-
Q2 サービス性能												-	0.30	-	-	3.0
1 機能性												2.5	0.40	3.2	1.00	3.0
1.1 機能性・使いやすさ												3.0	0.40	4.0	0.60	0.60
1 広さ・収納性												-	-	-	-	-
2 高度情報通信設備対応												3.0	1.00	4.0	1.00	1.00
3 バリアフリー計画												3.0	0.30	3.0	0.30	0.30
1.2 心理性・快適性												1.0	0.30	2.0	0.40	0.40
1 広さ感・景観												-	-	3.0	0.50	0.50
2 リフレッシュスペース												-	-	-	-	-
3 内装計画												1.0	1.00	1.0	0.50	0.50
1.3 維持管理												3.5	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計												3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保												4.0	0.50	-	-	-
2 耐用性・信頼性												3.2	0.31	-	-	3.2
2.1 耐震・免震												3.0	0.48	-	-	-
1 耐震性												3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能												3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数												3.9	0.33	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数												5.0	0.23	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔												5.0	0.23	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔												3.0	0.09	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔												3.0	0.08	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔												3.0	0.15	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔												3.0	0.23	-	-	-

2.4 信頼性					3.0	0.19		-	
1	空調・換気設備				3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備				3.0	0.20		-	
3	電気設備				3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法				3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備				3.0	0.20		-	
3 対応性・更新性					3.0	0.29	2.5	1.00	2.5
3.1 空間のゆとり					3.0	-	2.0	0.50	
1	階高のゆとり						2.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ	●大切	A(全国版準用)				2.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり							3.0	0.50	
3.3 設備の更新性					3.0	1.00		-	
1	空調配管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
2	給排水管の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.17		-	
3	電気配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
4	通信配線の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.11		-	
5	設備機器の更新性	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.22		-	
6	バックアップスペース				3.0	0.22		-	
Q3 室外環境(敷地内)					-	0.30	-	-	3.1
1 生物環境の保全と創出		●とも	A'(全国版準用)		2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮		○	C(独自加点) D(独自基準)	京都市景観条例に認定されている	4.0	0.40		-	4.0
3 地域性・アメニティへの配慮					3.0	0.30		-	3.0
3.1	地域性への配慮 快適性の向上	●とも 自然	A'(全国版準用)		3.0	0.50		-	
3.2	敷地内温熱環境の向上	●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
LR 建築物の環境負荷低減性					-	-	-	-	3.7
LR1 エネルギー					-	0.40	-	-	4.6
1 建築物の熱負荷抑制				省エネ等級4取得	5.0	0.40		-	5.0
2 自然エネルギー利用					3.5	0.20		-	3.5
2.1	自然エネルギーの直接利用	●自然	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
2.2	自然エネルギーの変換利用	●自然	A(全国版準用)	太陽光発電を使用	4.0	0.50		-	
3 設備システムの高効率化					4.8	0.40		-	4.8
集住住宅以外の評価(ERRIによる評価)				#VALUE!	4.8			-	
集住住宅の評価					4.8			-	
4 効率的運用								-	
4.1	モニタリング							-	
4.2	運用管理体制							-	
LR2 資源・マテリアル					-	0.30	-	-	2.9
1 水資源保護					3.0	0.15		-	3.0
1.1 節水					3.0	0.40		-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用					3.0	0.60		-	
1	雨水利用システム導入の有無	●自然	A(全国版準用)		3.0	1.00		-	
2	雑排水等利用システム導入の有無							-	
2 非再生性資源の使用量削減					2.9	0.63		-	2.9
2.1	材料使用量の削減	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		2.0	0.07		-	
2.2	既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.24		-	
2.3	躯体材料におけるリサイクル材の使用	●大切	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.20		-	
2.4	非構造材料におけるリサイクル材の使用	●大切	A'(全国版準用) B(推奨内容)		3.0	0.20		-	
2.5	持続可能な森林から産出された木材	●自然	B(推奨内容) D(独自基準)		3.0	0.05		-	
2.6	部材の再利用可能性向上への取組み	●大切	A(全国版準用)		3.0	0.24		-	
3 汚染物質含有材料の使用回避					3.0	0.22		-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用					3.0	0.32		-	
3.2 フロン・ハロンの回避					3.0	0.68		-	
1	消火剤							-	
2	発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50		-	
3	冷媒				3.0	0.50		-	
LR3 敷地外環境					-	0.30	-	-	3.4
1 地球温暖化への配慮					4.3	0.33		-	4.3
2 地域環境への配慮					2.9	0.33		-	2.9
2.1 大気汚染防止					3.0	0.25		-	
2.2 温熱環境悪化の改善		●とも	A(全国版準用)		3.0	0.50		-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制					2.6	0.25		-	
1	雨水排水負荷低減							-	
2	汚水処理負荷抑制				3.0	0.33		-	
3	交通負荷抑制				3.0	0.33		-	
4	廃棄物処理負荷抑制				2.0	0.33		-	
3 周辺環境への配慮					3.1	0.33		-	3.1
3.1 騒音・振動・悪臭の防止					3.0	0.40		-	
1	騒音				3.0	1.00		-	
2	振動							-	
3	悪臭							-	
3.2 風害、日照障害の抑制					3.0	0.40		-	
1	風害の抑制				3.0	0.70		-	
2	砂塵の抑制							-	
3	日照障害の抑制				3.0	0.30		-	
3.3 光害の抑制					3.7	0.20		-	
1	屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策			屋外照明がない	4.0	0.70		-	
2	屋外の建物外壁による反射光(グレア)への対策	●大切	B(推奨内容)		3.0	0.30		-	

記号凡例 ●:重点項目 ○:低炭素景観創出に係る項目

重点項目キーワード凡例 「大切」:大切に使う 「とも」:ともに使う 「自然」:自然からつくる